

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2005-58994 (P2005-58994A)

【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-010

【出願番号】特願 2003-360253 (P2003-360253)

【国際特許分類第 7 版】

B 0 5 B 17/00

A 6 2 C 27/00

B 0 5 B 1/12

B 0 5 B 1/14

【F I】

B 0 5 B 17/00 1 0 1

A 6 2 C 27/00 5 0 1

B 0 5 B 1/12

B 0 5 B 1/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 7 日 (2005.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多機能可般型噴霧装置であって、

フィルターを備えた大水量注入口及び、フィルターを備えた小水量注入口を有し、排水口に二層のフィルターを設けると共に、溢出するのを防止する浮動弁を備えた貯水タンクと、

前記貯水タンクと接続されて、混合剤を前記貯水タンクに供給、或いは供給しないよう切り替え可能な混合剤タンクと、

前記貯水タンクの排水口に接続され、排水口側に高圧パイプフィルターを設けた、水或いは混合液を加圧する高圧ポンプと、

前記高圧ポンプに動力を供給する動力源と、

前記高圧パイプフィルターを介して高圧パイプと前記高圧ポンプを接続し、前端には簡易コネクタを設け、ノズルの交換を容易とした複数の手持高圧射水銃と、

前記手持高圧射水銃を収容する複数の高圧射水銃保管箱と、

パイプホースを巻取り収容するパイプローラー及びハンドルと、

前記ノズルが一つ或いはそれ以上のノズルからなることにより噴霧量を増加し、正前方と側方に噴霧し、異なる形態に噴霧可能とすると共に、末端にフィルターを設けている複数の可変ノズルと、

前記ノズルを収容する複数のノズル保管箱と、

前記電源の騒音を防ぐ防音カバーと、

前記貯水タンク、前記混合剤タンク、前記動力源、前記高圧ポンプ、前記高圧射水銃、前記高圧射水銃保管箱、前記ノズル、前記ノズル保管箱、前記パイプ、前記ローラー、等を搭載し、前輪、後輪、取っ手、係合環を備えて、前記装置の押し引き可能としたカートと、

、

からなることを特徴とする多機能可般型噴霧装置。

【請求項 2】

前記貯水タンクの容量は、30～80リットルであることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 3】

前記混合液タンクの容量は、10リットル以下であることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 4】

前記高圧ポンプは、80～150バール（bar）の高圧で、毎分5～20リットルの水をノズルに供給することを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 5】

前記動力源は小型ガソリンエンジン、又はモーターのいずれかであることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 6】

前記小型ガソリンエンジンは、手動で起動することを特徴とする請求項5に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 7】

前記小型ガソリンエンジンは、バッテリー電子スタータにより起動することを特徴とする請求項5に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 8】

前記小型ガソリンエンジンは、手動、或いは電子スタータにより起動することを特徴とする請求項5に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 9】

前記混合液は泡式消火剤、洗浄剤、消火液、除虫剤、環境保護の微生物表面活性剤のいずれかであることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 10】

前記手持高圧射水銃は1～4、又は3～5のいずれかであることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 11】

各可変ノズルは二つのノズルがあり、一つは正前方に噴霧、もう一つは角度 で噴霧し、角度 は15～60度で、好ましくは45度であることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 12】

各可変ノズルは三つのノズルがあり、中央のノズルは正前方に、それ以外の二つは、前記中央ノズルから間隔d離れた角度 で噴霧し、間隔dは3～10センチ、角度 は15～60度で、好ましくは45度であることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 13】

前記カートの取っ手は、後方に30～60度傾斜していることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。

【請求項 14】

前記カートは車、バイク、トラクター、人力のいずれかにより牽引されることを特徴とする請求項1に記載の多機能可般型噴霧装置。